

平成28年(2016年) 1～3 月期平均の結果

<1世帯当たりの1か月平均の消費支出>

総世帯は,	241,966 円		
前年同期比	実質 2.9%の減少	名目 2.8%の減少	
前期比(季節調整値)	実質 1.0%の増加		
二人以上の世帯は,	283,879 円		
前年同期比	実質 2.6%の減少	名目 2.5%の減少	
前期比(季節調整値)	実質 0.5%の増加		

<1世帯当たりの1か月平均の消費支出(除く住居等※)>

総世帯は,	204,751 円		
前年同期比	実質 2.3%の減少	名目 2.2%の減少	
前期比(季節調整値)	実質 1.3%の増加		
二人以上の世帯は,	242,863 円		
前年同期比	実質 1.9%の減少	名目 1.8%の減少	
前期比(季節調整値)	実質 0.1%の増加		

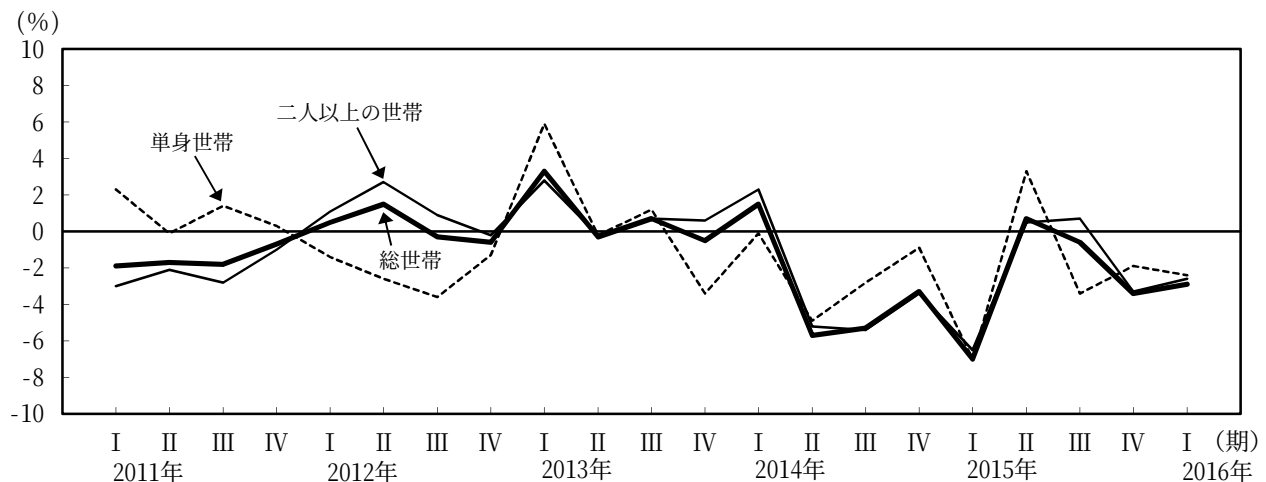
※:「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。

<勤労者世帯の1世帯当たりの1か月平均の実収入>

総世帯は,	407,273 円		
前年同期比	実質 1.6%の減少	名目 1.5%の減少	
二人以上の世帯は,	454,551 円		
前年同期比	実質 1.1%の減少	名目 1.0%の減少	

消費支出の推移

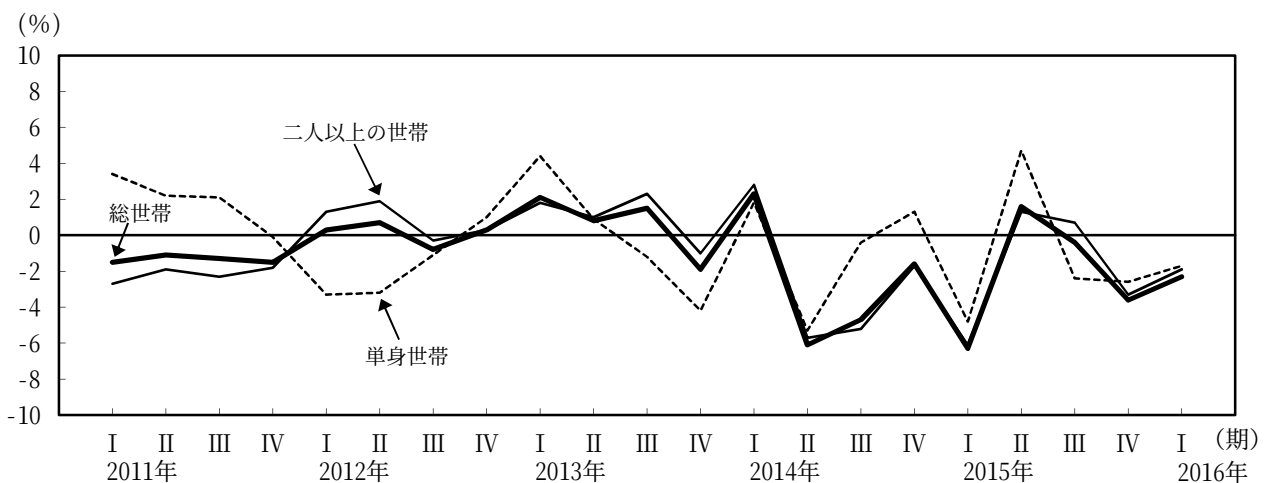
図1 消費支出の対前年同期実質増減率の推移



消費支出	2013年				2014年				2015年				2016年
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I
総世帯	3.3	-0.3	0.7	-0.5	1.5	-5.7	-5.3	-3.3	-7.0	0.7	-0.6	-3.4	-2.9
二人以上の世帯	2.8	-0.2	0.7	0.6	2.3	-5.2	-5.4	-3.4	-6.5	0.5	0.7	-3.3	-2.6
単身世帯	5.9	-0.2	1.2	-3.4	-0.1	-4.9	-2.8	-0.9	-7.0	3.3	-3.4	-1.9	-2.4

注 I は1～3月期, II は4～6月期, III は7～9月期, IV は10～12月期を表す。

図2 消費支出（除く住居等[※]）の対前年同期実質増減率の推移



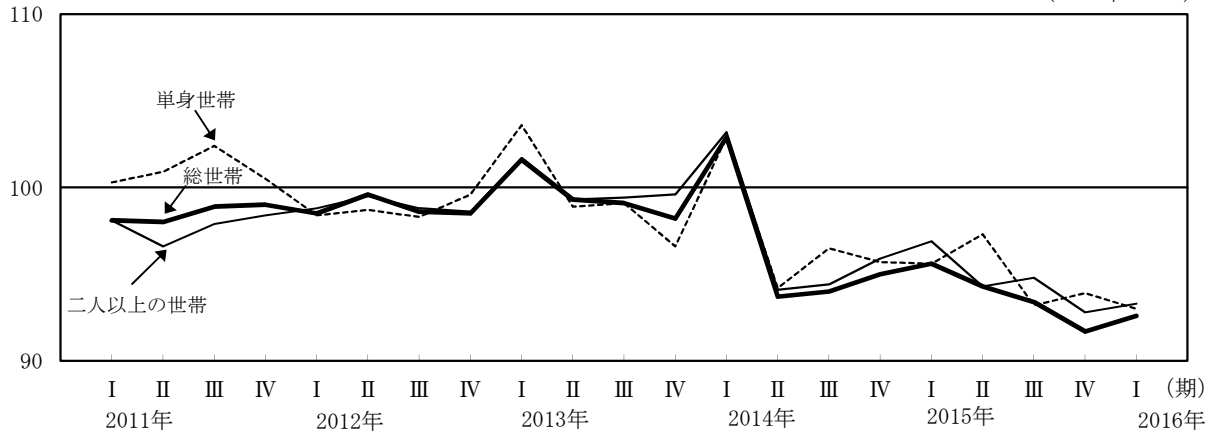
消費支出(除く住居等 [※])	2013年				2014年				2015年				2016年
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I
総世帯	2.1	0.8	1.5	-1.9	2.3	-6.1	-4.7	-1.6	-6.3	1.6	-0.4	-3.6	-2.3
二人以上の世帯	1.8	1.0	2.3	-1.0	2.8	-5.7	-5.2	-1.7	-6.1	1.3	0.7	-3.3	-1.9
単身世帯	4.4	0.9	-1.2	-4.2	1.8	-5.3	-0.4	1.3	-4.8	4.7	-2.4	-2.6	-1.7

※:「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。

注 I は1～3月期, II は4～6月期, III は7～9月期, IV は10～12月期を表す。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移

(2010年=100)



消費支出	2013年				2014年				2015年				2016年
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I
総世帯	101.6	99.3	99.1	98.2	102.9	93.7	94.0	95.0	95.6	94.3	93.4	91.7	92.6
対前期変化率(%)	3.1	-2.3	-0.2	-0.9	4.8	-8.9	0.3	1.1	0.6	-1.4	-1.0	-1.8	1.0
二人以上の世帯	101.7	99.3	99.4	99.6	103.2	94.1	94.4	95.9	96.9	94.3	94.8	92.8	93.3
対前期変化率(%)	3.1	-2.4	0.1	0.2	3.6	-8.8	0.3	1.6	1.0	-2.7	0.5	-2.1	0.5
単身世帯	103.6	98.9	99.1	96.6	102.9	94.2	96.5	95.7	95.6	97.3	93.2	93.9	93.0
対前期変化率(%)	4.0	-4.5	0.2	-2.5	6.5	-8.5	2.4	-0.8	-0.1	1.8	-4.2	0.8	-1.0

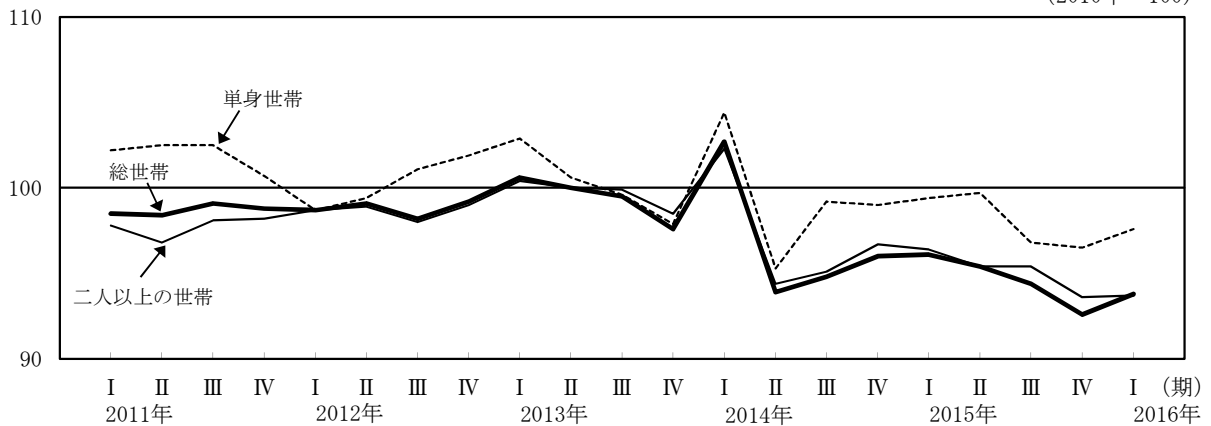
注1 Iは1～3月期、IIは4～6月期、IIIは7～9月期、IVは10～12月期を表す。

2 季節調整の方法は、センサス局法（X-12-ARIMA）を用いた。ただし、二人以上の世帯については、月次季節調整系列の3か月平均としている。

3 総世帯及び単身世帯の季節調整値は1～3月期結果公表時に、二人以上の世帯の季節調整値は1月結果公表時に、それぞれ過去に遡って改定している。

図4 消費支出（除く住居等※）（季節調整済実質指数）の推移

(2010年=100)



消費支出(除く住居等※)	2013年				2014年				2015年				2016年
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I
総世帯	100.6	100.0	99.5	97.6	102.7	93.9	94.8	96.0	96.1	95.4	94.4	92.6	93.8
対前期変化率(%)	1.4	-0.6	-0.5	-1.9	5.2	-8.6	1.0	1.3	0.1	-0.7	-1.0	-1.9	1.3
二人以上の世帯	100.4	100.0	99.9	98.5	102.3	94.4	95.1	96.7	96.4	95.4	95.4	93.6	93.7
対前期変化率(%)	1.4	-0.4	-0.1	-1.4	3.9	-7.7	0.7	1.7	-0.3	-1.0	0.0	-1.9	0.1
単身世帯	102.9	100.6	99.6	97.9	104.4	95.3	99.2	99.0	99.4	99.7	96.8	96.5	97.6
対前期変化率(%)	1.0	-2.2	-1.0	-1.7	6.6	-8.7	4.1	-0.2	0.4	0.3	-2.9	-0.3	1.1

※:「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。

注1 Iは1～3月期、IIは4～6月期、IIIは7～9月期、IVは10～12月期を表す。

2 季節調整の方法は、センサス局法（X-12-ARIMA）を用いた。ただし、二人以上の世帯については、月次季節調整系列の3か月平均としている。

3 総世帯及び単身世帯の季節調整値は1～3月期結果公表時に、二人以上の世帯の季節調整値は1月結果公表時に、それぞれ過去に遡って改定している。

I. 総世帯（「二人以上の世帯」と「単身世帯」を合わせた世帯）

1 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2016年1～3月期－総世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減率への寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	241,966	-2.8	-2.9	－		3期連続の実質減少
食 料	60,156	3.2	0.8	0.19	<増 加> 外食,調理食品など	2期ぶりの実質増加
住 居	15,499	-6.7	-7.0	-0.47	<減 少> 設備修繕・維持,家賃地代	3期ぶりの実質減少
光 熱 ・ 水 道	22,482	-13.6	-6.6	-0.69	<減 少> 電気代,ガス代など	2期連続の実質減少
家具・家事用品	7,546	0.2	-0.4	-0.01	<減 少> 家事サービス,家事雑貨など	2期連続の実質減少
被 服 及 び 履 物	9,193	-6.8	-8.7	-0.34	<減 少> 洋服,履物類など	3期連続の実質減少
保 健 医 療	11,521	6.3	5.6	0.24	<増 加> 保健医療サービス,医薬品など	3期ぶりの実質増加
交 通 ・ 通 信	33,090	-4.5	-2.1	-0.28	<減 少> 自動車等関係費	3期連続の実質減少
教 育	7,580	3.8	2.1	0.06		
教 養 娛 楽	23,377	-0.4	-2.3	-0.22	<減 少> 教養娯楽サービス,教養娯楽用耐久財など	8期連続の実質減少
その他の消費支出	51,521	-5.4	(-5.5)	(-1.21)	<減 少> 交際費,諸雑費など	11期連続の実質減少
消 費 支 出 (除く住居等※)	204,751	-2.2	-2.3	－		3期連続の実質減少

※：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「教育」については、詳細な収支項目別の集計を行っていない。

3 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

<減少項目>

実質寄与度

交際費	[-0.46]		贈与金
諸雑費	[-0.44]		葬儀関係費, 祭具・墓石
設備修繕・維持	[-0.37]		外壁・塀等工事費, 火災・地震保険料
自動車等関係費	[-0.37]		自動車購入, 自動車保険料（任意）
電気代	[-0.29]		
ガス代	[-0.22]		プロパンガス, 都市ガス
洋服	[-0.21]		婦人用コート, 婦人服
教養娯楽サービス	[-0.17]		外国パック旅行費, スポーツ月謝
教養娯楽用耐久財	[-0.11]		テレビ, パーソナルコンピュータ

<増加項目>

保健医療サービス	[0.20]		他の入院料*, 歯科診療代
----------	--------	-------	---------------

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

* 「他の入院料」とは、「出産入院料」以外の入院料をいう。

2 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（2016年1～3月期－総世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への寄与 度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	407,273	-1.5	-1.6	—	2期連続の実質減少
世 帯 主 収 入	331,471	-1.4	-1.5	-1.22	12期連続の実質減少
定 期 収 入	324,161	-1.5	-1.6	-1.28	3期連続の実質減少
臨時収入・賞与	7,310	3.4	3.3	0.06	2期ぶりの実質増加
配 偶 者 の 収 入	40,647	3.3	3.2	0.30	4期連続の実質増加
他 の 世 帯 員 収 入	5,117	-14.9	-15.0	-0.22	3期連続の実質減少
非 消 費 支 出	73,696	-2.0	—	—	2期連続の減少
可 処 分 所 得	333,577	-1.4	-1.5	—	2期連続の実質減少
消 費 支 出	270,221	-3.3	-3.4	—	3期連続の実質減少
平均消費性向(%)	81.0	(前年同期) 82.6	(ポイント差) -1.6		

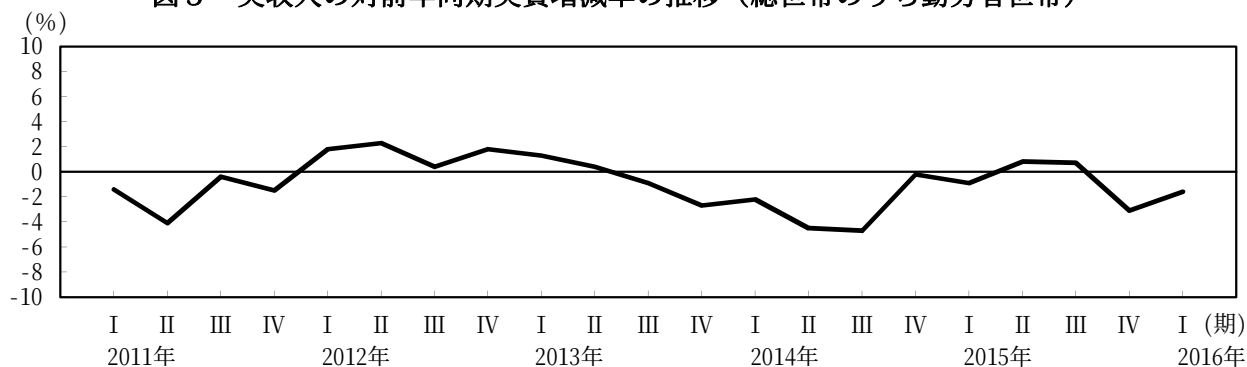
注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入や社会保障給付などが含まれる。

図5 実収入の対前年同期実質増減率の推移（総世帯のうち勤労者世帯）



	2013年				2014年				2015年				2016年
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I
実 収 入	1.3	0.4	-0.9	-2.7	-2.2	-4.5	-4.7	-0.2	-0.9	0.8	0.7	-3.1	-1.6

注 I は1～3月期、IIは4～6月期、IIIは7～9月期、IVは10～12月期を表す。

II. 二人以上の世帯

1 消費支出とその内訳

表3 消費支出の内訳（2016年1～3月期—二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減率への寄与度(%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	283,879	-2.5	-2.6	—		2期連続の実質減少
食 料	70,581	4.3	1.9	0.42	<増 加> 調理食品, 外食など	2期ぶりの実質増加
住 居	15,449	-5.1	-5.4	-0.30	<減 少> 設備修繕・維持, 家賃地代	3期ぶりの実質減少
光 熱 ・ 水 道	26,886	-13.1	-6.1	-0.64	<減 少> 電気代, ガス代など	2期連続の実質減少
家具・家事用品	9,099	-0.7	-1.3	-0.04	<減 少> 寝具類, 家事雑貨など	4期ぶりの実質減少
被服及び履物	10,861	-6.5	-8.4	-0.34	<減 少> 洋服, シャツ・セーター類など	8期連続の実質減少
保健医療	13,582	7.2	6.5	0.28	<増 加> 保健医療サービス, 医薬品など	3期ぶりの実質増加
交通・通信	39,874	-4.6	-2.2	-0.31	<減 少> 自動車等関係費, 交通	2期連続の実質減少
教 育	11,136	4.8	3.0	0.11	<増 加> 授業料等	2期ぶりの実質増加
教 養 娛 楽	26,405	-0.5	-2.4	-0.22	<減 少> 教養娯楽用耐久財, 教養娯楽サービスなど	2期連続の実質減少
その他の消費支出	60,006	-5.8	(-5.9)	(-1.29)	<減 少> 交際費, 諸雑費など	11期連続の実質減少
消 費 支 出 (除く住居等※)	242,863	-1.8	-1.9	—		2期連続の実質減少

※：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

<減少項目>

実質寄与度

交際費	[-0.58]		贈与金
諸雑費	[-0.36]		葬儀関係費, 祭具・墓石
自動車等関係費	[-0.35]		自動車購入, 自動車保険料（任意）
電気代	[-0.27]		
設備修繕・維持	[-0.24]		外壁・塀等工事費, 火災・地震保険料
ガス代	[-0.23]		プロパンガス, 都市ガス
洋服	[-0.18]		婦人用上着, 婦人用コート
教養娯楽用耐久財	[-0.14]		テレビ, 楽器

<増加項目>

授業料等	[0.25]		私立大学, 国公立大学
保健医療サービス	[0.19]		歯科診療代, 内科診療代
調理食品	[0.14]		弁当, おにぎり・その他

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

2 勤労者世帯の収支

表4 収支の内訳（2016年1～3月期—二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

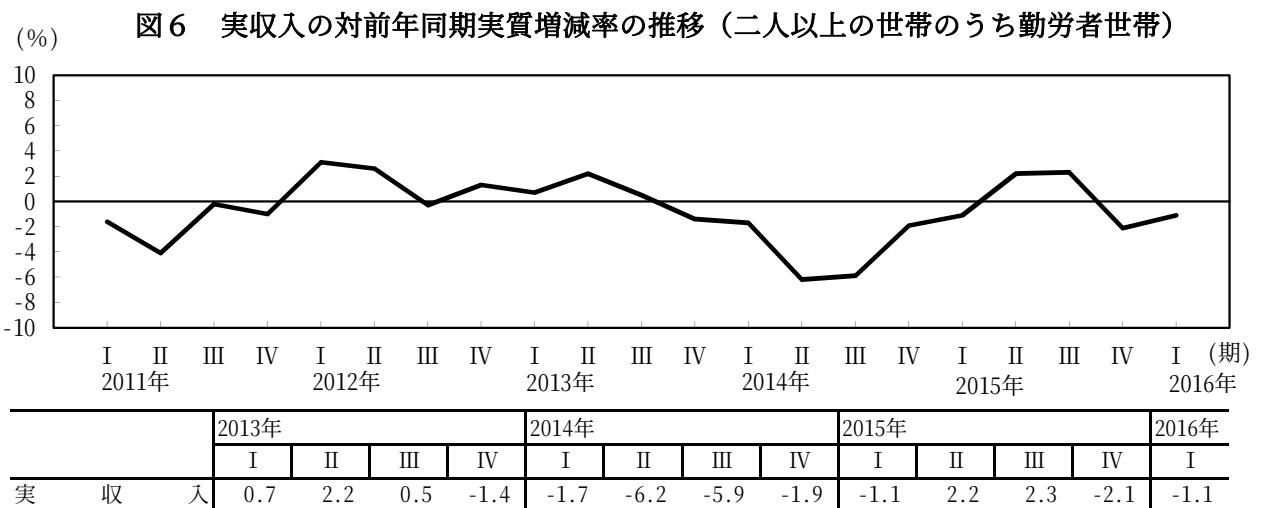
項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	454,551	-1.0	-1.1	—	2期連続の実質減少
世 帯 主 収 入	351,217	-1.6	-1.7	-1.31	2期連続の実質減少
定 期 収 入	342,739	-1.9	-2.0	-1.50	10期連続の実質減少
臨 時 収 入・賞 与	8,478	11.1	11.0	0.18	2期ぶりの実質増加
配 偶 者 の 収 入	58,175	7.1	7.0	0.82	4期連続の実質増加
他 の 世 帯 員 収 入	7,328	-11.7	-11.8	-0.21	3期連続の実質減少
非 消 費 支 出	81,412	-1.3	—	—	2期連続の減少
可 処 分 所 得	373,139	-1.0	-1.1	—	2期連続の実質減少
消 費 支 出	314,867	-2.0	-2.1	—	2期連続の実質減少
平均消費性向(%)	84.4	(前年同期) 85.3	(ポイント差) -0.9		

注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入や社会保障給付などが含まれる。



注 Iは1～3月期、IIは4～6月期、IIIは7～9月期、IVは10～12月期を表す。

消費支出とその内訳

表5 消費支出の内訳（2016年1～3月期一単身世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	153,178	-2.3	-2.4	—		3期連続の実質減少
食 料	38,071	1.3	-1.1	-0.26	<減 少> 酒類,調理食品など	2期連続の実質減少
住 居	15,608	-10.0	-10.3	-1.14	<減 少> 設備修繕・維持,家賃地代	3期連続の実質減少
光 熱 ・ 水 道	13,152	-13.9	-6.9	-0.67	<減 少> 電気代,他の光熱など	2期連続の実質減少
家具・家事用品	4,257	8.3	7.7	0.19	<増 加> 家庭用耐久財,寝具類など	8期ぶりの実質増加
被 服 及 び 履 物	5,660	-5.6	-7.5	-0.29	<減 少> 洋服,履物類など	3期連続の実質減少
保 健 医 療	7,156	4.8	4.1	0.18	<増 加> 保健医療サービス	2期ぶりの実質増加
交 通 ・ 通 信	18,716	-1.2	1.3	0.16	<増 加> 交通,通信	3期ぶりの実質増加
教 育	49	—	—	—		
教 養 娯 楽	16,964	1.3	-0.6	-0.07	<減 少> 教養娯楽サービス	6期連続の実質減少
その他の消費支出	33,547	-1.8	(-1.9)	(-0.42)	<減 少> 諸雑費,仕送り金	4期ぶりの実質減少
消 費 支 出 (除く住居等※)	124,012	-1.6	-1.7	—		3期連続の実質減少

※：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「教育」については、詳細な収支項目別の集計を行っていない。また、消費支出全体に占める割合が小さいことから、増減率については掲載していない。

3 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類	品 目		
＜減少項目＞	実質寄与度		
設備修繕・維持	[-0.83]	……	外壁・塀等工事費，設備器具
諸雑費	[-0.57]	……	たばこ，祭具・墓石
教養娯楽サービス	[-0.50]	……	国内パック旅行費，他の教養的月謝 ^{*1}
家賃地代	[-0.27]	……	民営家賃，公営家賃
電気代	[-0.27]		
洋服	[-0.27]	……	婦人用コート，婦人服
他の光熱	[-0.23]	……	灯油
自動車等関係費	[-0.20]	……	ガソリン，自動車保険料(任意)
＜増加項目＞			
教養娯楽用品	[0.32]	……	ゴルフ用具，音楽・映像収録済メディア
保健医療サービス	[0.26]	……	その他の保健医療サービス ^{*2}

注 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

※1 「他の教養的月謝」とは、「音楽月謝」以外の教養的月謝をいう。

※2 単身世帯では、「出産入院料」、「他の入院料」及び「他の保健医療サービス」を統合した「その他の保健医療サービス」を中間分類表章項目として設定しており、内訳の表章を行っていない。

<参考>

図7 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（2016年1～3月期—総世帯）

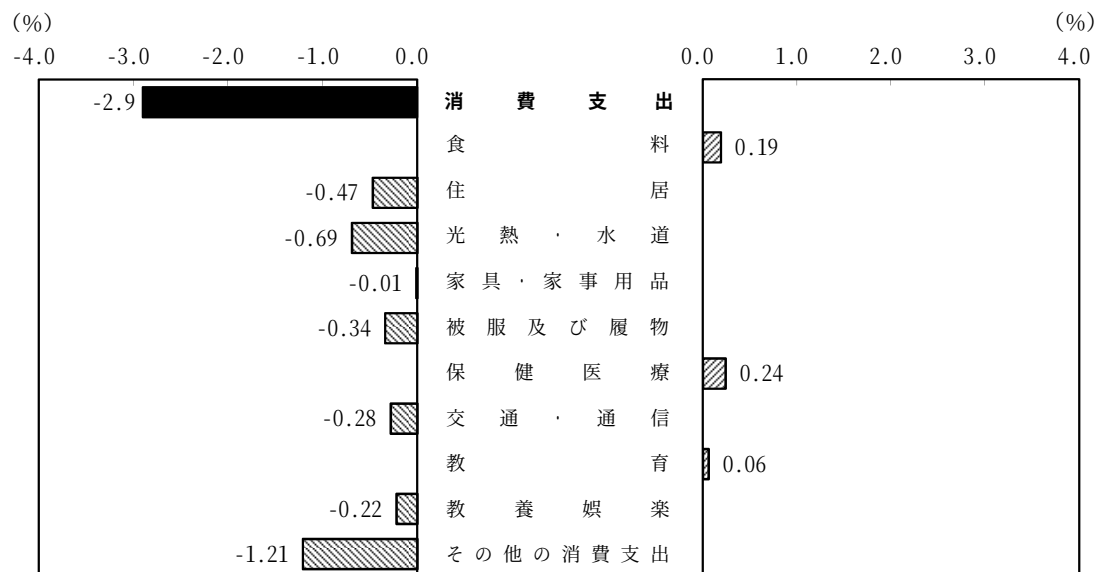


図8 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（2016年1～3月期—二人以上の世帯）

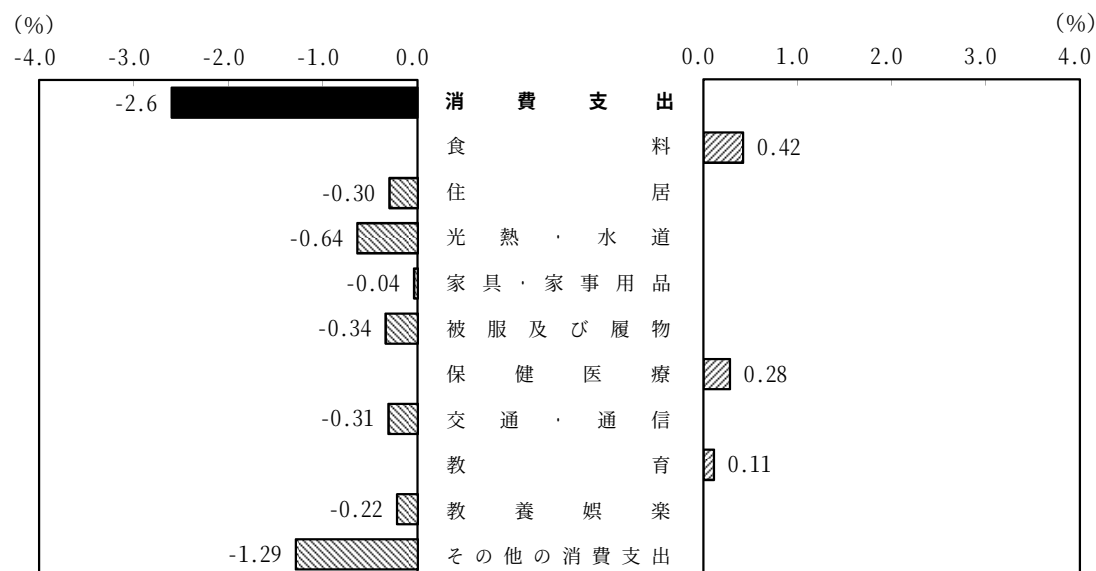
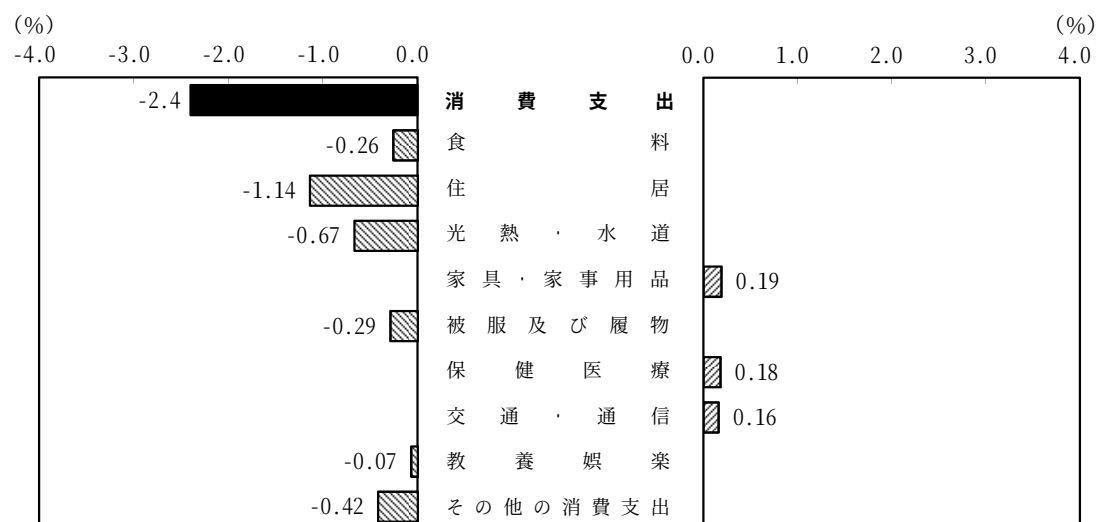


図9 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（2016年1～3月期—単身世帯）



注 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。